

自由民主党眼科医療政策推進議員連盟総会
令和元年6月13日(木)



**日本眼科医会が推進する
視覚障害者支援
(ロービジョンケア)
白根 雅子**



公益社団法人 日本眼科医会
JAPAN OPHTHALMOLOGISTS ASSOCIATION

視覚障害者の支援

観点1 社会的要請

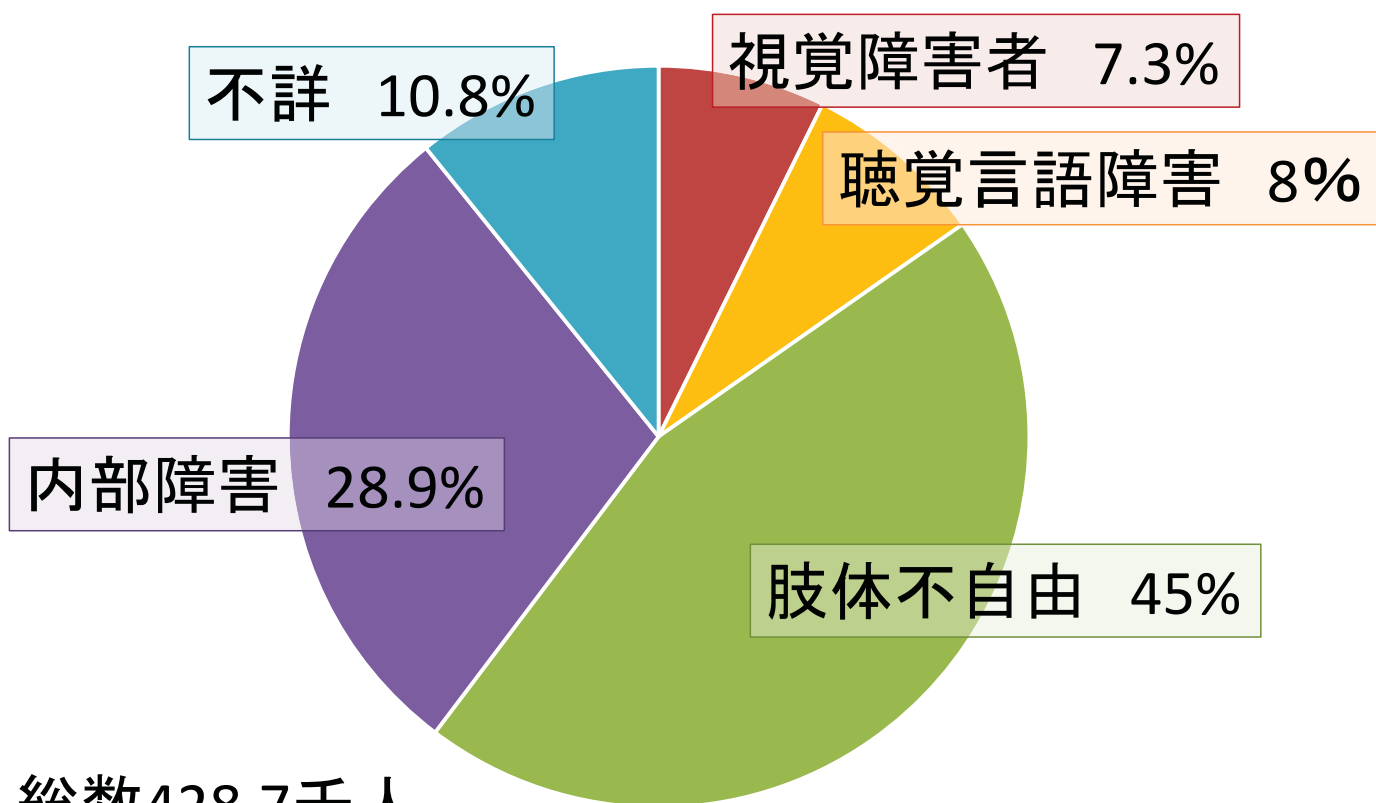
巨大少子高齢化社会では視覚障害が増える
労働年齢人口減少により、介護者が減少する

観点2 生き甲斐ある人生を送る権利

健全者と障害者の共生社会実現



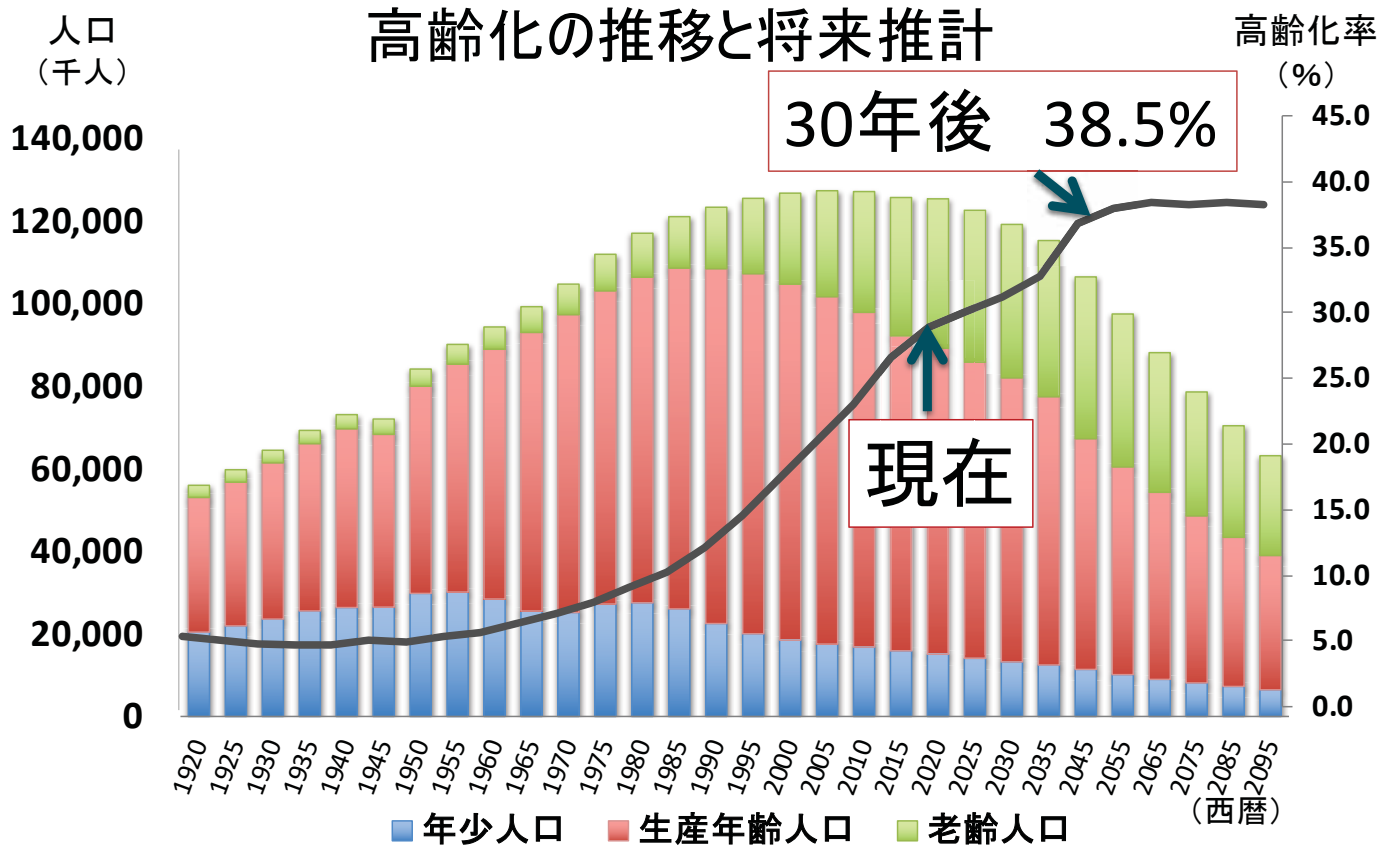
障害別割合（障害者手帳保持者）



総数428.7千人

平成28年 厚生労働省統計

高齢化の推移と将来推計



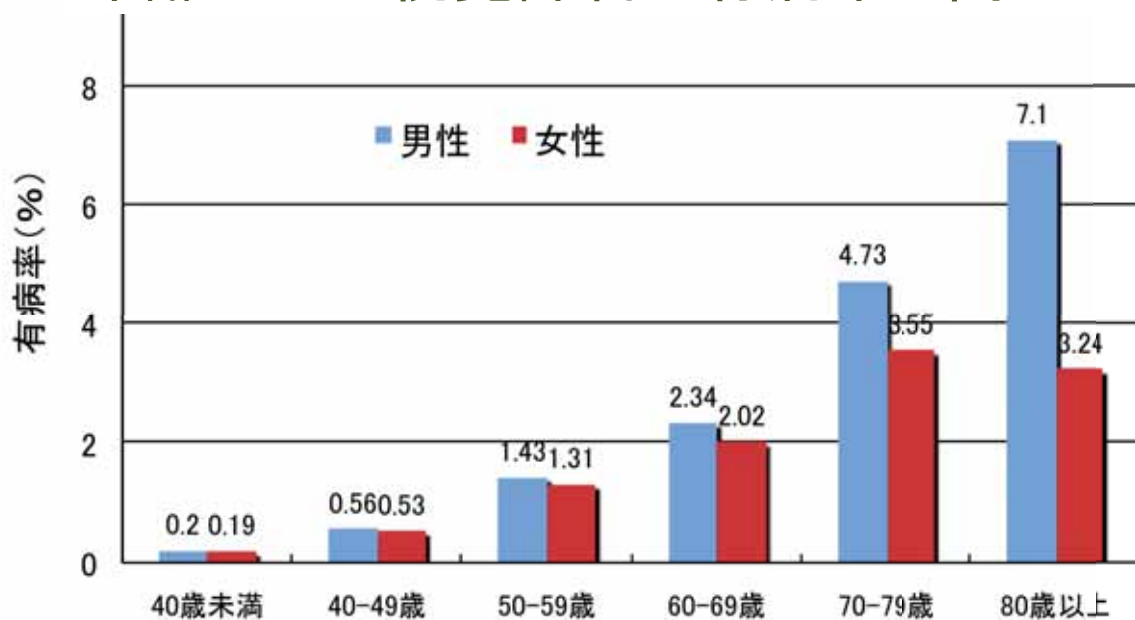
※ 年少人口： 14歳以下、生産年齢人口： 15-64歳、老齢人口： 65歳以上

※ 高齢化率： 人口に占める老齢人口の割合

※総務省統計局統計データ;日本の統計2018, 第2章, に基づく (2019:日本医療機器協会王立40周年記念誌:白根雅子)

視覚障害の年代別、性別の有病率

年齢とともに視覚障害の有病率が高くなる



30年後には視覚障害者の割合が増える

(Yamada, Ophthalmic Epidemiol, 2010)
(Roberts, Arch Ophthalmol, 2010)

4
スライド提供: 杏林大学眼科(アイセンター)山田昌和臨床教授

視覚障害者は見えにくい

緑内障



角膜
白斑

網膜、視神経の病気はわかりにくい

子供の頃から見えにくいのか、中途失明なのか
どのように見えにくいのか

不自由さ、危険の大きさは外見からはわかりにくい





視力低下

全体がかすむ、暗い、鮮やかでない

A photograph of a tulip field with a house in the background. A large black circle is superimposed in the center, representing a blind spot. The tulips are in the foreground, and the house is in the background. The text '中心暗点' is in the top right, and '視力が悪い、見たいところが見えにくい' is in the bottom left.

中心暗点

視力が悪い、見たいところが見えにくい

視野狭窄



視力は良いが周りが見えず移動困難

日本眼科医会 視覚障害者支援



現在の取り組み

1. 視覚障害者支援ネットワーク構築
(通称 スマートサイト: 眼科から福祉へ)
2. 災害時の視覚障害者支援
3. 視覚障害者支援活動への助成金

ロービジョンケア

医療的ケア

疾患の治療・説明

視覚補助具

視覚リハビリ

視覚 バリアフリー

社会的ケア

生活訓練

歩行訓練

職業訓練

教育・進路指導

災害時の支援

視覚障害者団体

就労支援
福祉情報提供
診断書・意見書
精神的ケア



日本眼科医会が目指す目標

視覚バリアフリー

1. 情報のバリアフリー

読み書きバリアフリー

情報ネットワークの構築

2. 社会のバリアフリー

安全な移動 社会参加

やり甲斐ある仕事、人生



日本眼科医会が目指す目標

視覚バリアフリー

1. 情報のバリアフリー

読み書きバリアフリー

情報ネットワークの構築



視覚を補う最新機器の導入と開発

補装具

焦点調節式単眼鏡



駅の時刻表、バスの中の運賃表、
黒板を見る時などに使用。

掛けメガネ式弱視鏡



メガネ式. 両手が空くので
作業をする時に便利

遮光眼鏡



網膜、視神経の病気による
眩しさを防ぐ

日常生活用具

残存視覚を使う器具

ルーペ・拡大読書機



日常生活用具

聴覚、触覚を使う器具



音声体重計



時計(触覚)



音声体温計



音声時計



New! 夜盲(網膜色素変性症)用メガネ



【MW10装着時の見え方イメージ】

① 横断歩道 (スイッチOFF)



② スイッチを入れた際のディスプレイ表示



夜の横断歩道や障害物などが明るく視認できます。

New! アナログ文書を読む、翻訳する機器



New! 人の顔を認識、紙幣を判別もできる

AI 視覚支援デバイス(オーカムマイアイ2)

イスラエル製



見たいものを指さすだけ！文字を読み上げたり、人の顔、物、紙幣、色を音声で知らせます。

時代に合った視覚補助機器の
迅速な導入をご支援ください

日本眼科医会が目指す目標



視覚バリアフリー



2. 社会のバリアフリー

安全な移動 甲斐ある仕事、人生

視覚障害者と晴眼者の共生社会構築



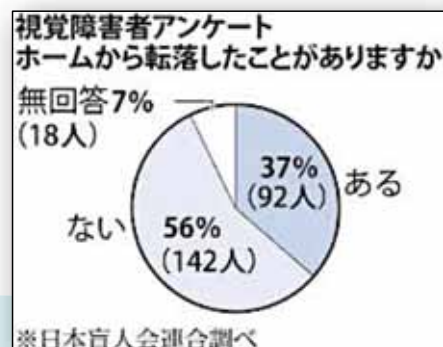
視覚障害者が安全に社会参画するための
社会啓発、教育

鉄道駅事故

ホームからの転落事故

総件数 3,673件
視覚障害者の件数 80件(2.2%)

(平成26年度 国土交通省報告書)



交通事故

ルールを守って歩行中に事故に遭遇

2018.12.07

事例) 視覚障害者はねられ死亡 東京の横断歩道で

視覚障害者に信号を音で知らせる装置は夜間・早朝は鳴らない

転落、転倒事故も多いとされる

2018年 バリアフリー整備ガイドライン 改正

『公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン』
(バリアフリー整備ガイドライン旅客施設編)

『公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン』
(バリアフリー整備ガイドライン車両等編)

事故を避けるには、ハード面の整備とともに
社会の中に視覚障害者が存在することを想像し、
視覚障害の特性を理解し、手を差し伸べることが重要



白杖を持っている方、
ホームの端です
止まって！



誘導は肘、肩を持ってもらう
手を引っ張らない

視覚障害者が自立した活動を安全に行うために

- 学校教育のカリキュラムに
視覚障害者と健常者が共生するための
プログラム充実をご検討ください
- 社会への啓発推進をご検討ください

2020 東京パラリンピック

日本眼科学会
日本眼科医会

視覚障害者と健常者の 共生社会構築

www.東京2020パラリンピック.jp

アイするスポーツプロジェクト始動

視覚障がい者スポーツに注目してください

視覚に障がいがあっても、体を動かして、汗をかき、心を通わせ、
「生きる」ことを満喫してほしい。
仲間をつくり、共に運動し、健常者の方たちとも交流してほしい。
スポーツをする——そこから明日は、未来は、はじまっています。

東京2020パラリンピックは、もうそこまで来ています。

視覚障がいを持つ方と健常者の方が共に活躍し、共に生きる社会に、
視覚を守る眼科医も大きく動き出します。

本プロジェクトはTOKYO2020応援プログラムとして
視覚障がいのパラスポーツへの理解を深め、QOL向上を支援してまいります。

プロジェクトの活動はWebで情報発信していきます

公益財団法人 日本眼科学会 公益社団法人 日本眼科医会

持続可能な開発目標に向けて

SDGs

Sustainable Development Goals



③保健 すべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する